

# 貸借対照表

令和 5年 3月 31日現在

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	29,680,958	13,844,260	15,836,698
未収金	44,220,604	56,301,697	△ 12,081,093
貸倒引当金	△ 270,630	△ 351,322	80,692
*	43,949,974	55,950,375	△ 12,000,401
立替金	4,500	37,936	△ 33,436
前払金	276,000	540,000	△ 264,000
流動資産合計	73,911,432	70,372,571	3,538,861
2. 固定資産			
(1)特定資産			
退職給付引当資産	5,512,085	9,600,551	△ 4,088,466
財政運営資金積立資産	57,703,000	46,703,000	11,000,000
特定資産合計	63,215,085	56,303,551	6,911,534
(2)その他固定資産			
電話加入権	225,900	225,900	0
リース資産	395,903	989,753	△ 593,850
その他固定資産合計	621,803	1,215,653	△ 593,850
固定資産合計	63,836,888	57,519,204	6,317,684
資産合計	137,748,320	127,891,775	9,856,545
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	41,240,424	35,149,681	6,090,743
前受金	193,082	25,601	167,481
預り金	775,698	564,904	210,794
1年以内返済予定リース債務	404,522	601,800	△ 197,278
流動負債合計	42,613,726	36,341,986	6,271,740
2. 固定負債			
退職給付引当金	5,512,085	9,600,551	△ 4,088,466
リース債務	0	404,522	△ 404,522
固定負債合計	5,512,085	10,005,073	△ 4,492,988
負債合計	48,125,811	46,347,059	1,778,752
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産	0	0	0
(うち基本財産への充当額)	(0)	(0)	(0)
(うち特定資産への充当額)	(0)	(0)	(0)
2. 一般正味財産	89,622,509	81,544,716	8,077,793
(うち基本財産への充当額)	(0)	(0)	(0)
(うち特定資産への充当額)	(57,703,000)	(46,703,000)	(11,000,000)
正味財産合計	89,622,509	81,544,716	8,077,793
負債及び正味財産合計	137,748,320	127,891,775	9,856,545

# 正味財産増減計算書

令和 4 年 4 月 1 日から令和 5 年 3 月 31 日まで

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
特定資産運用益	497	471	26
特定資産受取利息	497	471	26
受取会費	2,404,000	2,436,000	△ 32,000
正会員受取会費	2,400,000	2,432,000	△ 32,000
特別会員受取会費	4,000	4,000	0
受託事業収益	410,537,442	378,323,391	32,214,051
受取配分金	362,380,668	335,998,192	26,382,476
受取材料費等	12,803,232	10,531,649	2,271,583
受取事務費	35,353,542	31,793,550	3,559,992
労働者派遣事業等受託収益	2,737,803	2,432,914	304,889
労働者派遣事業等受託収益	2,737,803	2,432,914	304,889
受取補助金等	76,309,492	72,605,961	3,703,531
受取連合交付金	7,329,000	7,529,000	△ 200,000
受取区補助金	68,980,492	65,076,961	3,903,531
雑収益	154,158	217,049	△ 62,891
受取利息	624	551	73
雑収益	153,534	216,498	△ 62,964
経常収益計	492,143,392	456,015,786	36,127,606
(2) 経常費用			
事業費	464,639,065	434,564,579	30,074,486
支払配分金	362,380,668	335,998,192	26,382,476
支払材料費等	7,811,565	7,022,428	789,137
職員基本給	24,295,680	23,241,376	1,054,304
職員諸手当	7,353,637	7,116,820	236,817
職員特別手当	11,274,253	10,582,607	691,646
臨時雇賃金	11,366,204	10,867,145	499,059
法定福利費	7,835,665	7,347,178	488,487
退職給付費用	6,067,500	4,458,637	1,608,863
福利厚生費	498,238	447,832	50,406
会議費	0	8,481	△ 8,481
旅費交通費	1,043,759	856,053	187,706
通信運搬費	1,927,952	3,034,798	△ 1,106,846
減価償却費	475,080	475,080	0
消耗品費	2,535,168	2,088,792	446,376
修繕費	2,834	4,631	△ 1,797
印刷製本費	884,742	1,491,490	△ 606,748
燃料費	200,542	184,023	16,519

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
賃借料	4,348,460	4,853,325	△ 504,865
保険料	3,086,190	3,205,050	△ 118,860
諸謝金	54,569	10,023	44,546
租税公課	1,700,000	1,144,500	555,500
組織活動助成費	3,366,707	3,154,427	212,280
委託費	4,489,077	5,450,693	△ 961,616
支払手数料	1,619,769	1,414,952	204,817
支払利息	5,856	10,646	△ 4,790
雑費	14,950	95,400	△ 80,450
管理費	19,426,534	19,071,275	355,259
職員基本給	6,073,920	5,810,344	263,576
職員諸手当	1,838,410	1,779,206	59,204
職員特別手当	2,818,564	2,645,652	172,912
法定福利費	1,699,382	1,696,908	2,474
退職給付費用	1,477,590	1,072,540	405,050
福利厚生費	96,283	91,489	4,794
会議費	24,257	18,805	5,452
旅費交通費	581,357	506,618	74,739
通信運搬費	799,822	945,890	△ 146,068
減価償却費	118,770	118,770	0
消耗品費	1,033,724	1,260,316	△ 226,592
修繕費	0	31,680	△ 31,680
印刷製本費	427,280	397,049	30,231
賃借料	289,233	393,380	△ 104,147
保険料	128,050	130,820	△ 2,770
租税公課	0	1,334	△ 1,334
支払負担金	159,122	160,000	△ 878
委託費	572,476	655,050	△ 82,574
支払手数料	1,236,830	1,292,764	△ 55,934
支払利息	1,464	2,660	△ 1,196
雑費	50,000	60,000	△ 10,000
経常費用計	484,065,599	453,635,854	30,429,745
評価損益等調整前当期経常増減額	8,077,793	2,379,932	5,697,861
基本財産評価損益等	0	0	0
特定資産評価損益等	0	0	0
投資有価証券評価損益等	0	0	0
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	8,077,793	2,379,932	5,697,861
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	8,077,793	2,379,932	5,697,861
一般正味財産期首残高	81,544,716	79,164,784	2,379,932
一般正味財産期末残高	89,622,509	81,544,716	8,077,793
Ⅱ 指定正味財産増減の部			
(1)収益			
収益計	0	0	0
(2)費用			
費用計	0	0	0
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
Ⅲ 正味財産期末残高	89,622,509	81,544,716	8,077,793

# 正味財産増減計算書内訳表

令和4年4月1日から令和5年3月31日まで

(単位：円)

科 目	公益目的事業会計	法人会計	合 計
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
特定資産運用益	0	497	497
特定資産受取利息	0	497	497
受取会費	1,202,000	1,202,000	2,404,000
正会員受取会費	1,200,000	1,200,000	2,400,000
特別会員受取会費	2,000	2,000	4,000
事業収益	405,614,727	4,922,715	410,537,442
受取配分金	362,380,668	0	362,380,668
受取材料費等	12,803,232	0	12,803,232
受取事務費	30,430,827	4,922,715	35,353,542
労働者派遣事業等受託収益	2,737,803	0	2,737,803
労働者派遣事業等受託収益	2,737,803	0	2,737,803
受取補助金等	63,009,794	13,299,698	76,309,492
受取連合交付金	7,329,000	0	7,329,000
受取区補助金	55,680,794	13,299,698	68,980,492
雑収益	152,534	1,624	154,158
受取利息	0	624	624
雑収益	152,534	1,000	153,534
経常収益計	472,716,858	19,426,534	492,143,392
(2) 経常費用			
事業費			
支払配分金	362,380,668		362,380,668
支払材料費等	7,811,565		7,811,565
職員基本給	24,295,680		24,295,680
職員諸手当	7,353,637		7,353,637
職員特別手当	11,274,253		11,274,253
臨時雇賃金	11,366,204		11,366,204
法定福利費	7,835,665		7,835,665
退職給付費用	6,067,500		6,067,500
福利厚生費	498,238		498,238
会議費	0		0
旅費交通費	1,043,759		1,043,759
通信運搬費	1,927,952		1,927,952
減価償却費	475,080		475,080
消耗品費	2,535,168		2,535,168
修繕費	2,834		2,834
印刷製本費	884,742		884,742
燃料費	200,542		200,542

(単位：円)

科 目	公益目的事業会計	法人会計	合 計
賃借料	4,348,460		4,348,460
保険料	3,086,190		3,086,190
諸謝金	54,569		54,569
租税公課	1,700,000		1,700,000
組織活動助成費	3,366,707		3,366,707
委託費	4,489,077		4,489,077
支払手数料	1,619,769		1,619,769
支払利息	5,856		5,856
雑費	14,950		14,950
事業費計	464,639,065		464,639,065
管理費			
職員基本給		6,073,920	6,073,920
職員諸手当		1,838,410	1,838,410
職員特別手当		2,818,564	2,818,564
法定福利費		1,699,382	1,699,382
退職給付費用		1,477,590	1,477,590
福利厚生費		96,283	96,283
会議費		24,257	24,257
旅費交通費		581,357	581,357
通信運搬費		799,822	799,822
減価償却費		118,770	118,770
消耗品費		1,033,724	1,033,724
修繕費		0	0
印刷製本費		427,280	427,280
賃借料		289,233	289,233
保険料		128,050	128,050
租税公課		0	0
支払負担金		159,122	159,122
委託費		572,476	572,476
支払手数料		1,236,830	1,236,830
支払利息		1,464	1,464
雑費		50,000	50,000
管理費計		19,426,534	19,426,534
経常費用計	464,639,065	19,426,534	484,065,599
評価損益等調整前当期経常増減額	8,077,793	0	8,077,793
当期経常増減額	8,077,793	0	8,077,793
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0

(単位：円)

科 目	公益目的事業会計	法人会計	合 計
当期經常外増減額	0	0	0
他会計振替前当期一般正味財産増減額	8,077,793	0	8,077,793
他会計振替額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	8,077,793	0	8,077,793
一般正味財産期首残高	64,137,966	17,406,750	81,544,716
一般正味財産期末残高	72,215,759	17,406,750	89,622,509
Ⅱ 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
Ⅲ 正味財産期末残高	72,215,759	17,406,750	89,622,509

# 財務諸表に対する注記

## 1. 重要な会計方針

公益法人会計基準（内閣府公益認定等委員会 平成20年4月11日平成21年10月16日改正）を採用している。

### (1) 固定資産の減価償却の方法

リース資産…リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法により減価償却を実施している。

### (2) 引当金の計上基準

貸倒引当金…未収金の貸倒損失に備えるため、期末一般債権残高に一定率を乗じて算出した金額を計上している。

退職給付引当金…職員の退職給付に備えるため、当期末における退職給付債務に基づき、当期末において発生していると認められる額のうち、中小企業退職金共済掛金を控除した金額を計上している。

なお、退職給付債務は職員退職金支給規程の期末自己都合要支給額に基づいて計算している。

### (3) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込方式によっている。

### (4) リース取引の処理方法

所有権移転外ファイナンス・リース取引

リース資産の内容

その他の固定資産…事務所におけるパソコン・プリンターである。

## 2. 特定資産の増減額及びその残高

特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
特定資産				
退職給付引当資産	9,600,551	0	4,088,466	5,512,085
財政運営資金積立資産	46,703,000	11,000,000	0	57,703,000
合計	56,303,551	11,000,000	4,088,466	63,215,085



### 3. 特定資産の財源等の内訳

特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

科目	当期末残高	(うち指定正味財産からの充当額)	(うち一般正味財産からの充当額)	(うち負債に対応する額)
特定資産				
退職給付引当資産	5,512,085	(0)	(0)	(5,512,085)
財政運営資金積立資産	57,703,000	(0)	(57,703,000)	(0)
合計	63,215,085	(0)	(57,703,000)	(5,512,085)

### 4. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
その他の固定資産			
リース資産	989,753	593,850	395,903
合計	989,753	593,850	395,903

### 5. 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は、次のとおりである。

(単位：円)

補助金等の名称	交付者	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高	貸借対照表上の記載区分
補助金等 連合交付金 (高年齢者就業機会確保事業費等補助金)	(公財)東京しごと財団	0	7,329,000	7,329,000	0	-
区補助金	渋谷区 (うち東京都補助金)	0	68,980,492 (14,995,000)	68,980,492 (14,995,000)	0 (0)	- -
合計		0	76,309,492	76,309,492	0	

## 6. 退職給付関係

(1) 採用している退職給付制度の概要

確定給付型の制度として退職一時金制度を設けている。

また、複数事業主制度の確定給付企業年金に加入しており、自社の拠出に対応する年金資産の額を合理的に計算することができないため、確定拠出制度と同様に会計処理をしている。

(2) 退職給付債務及びその内訳

①退職給付債務	5,512,085 円
②退職給付引当金	5,512,085 円

(3) 退職給付費用に関する事項

①退職給付引当金繰入額	1,014,224 円
②中小企業退職金共済掛金	2,520,000 円
③確定給付企業年金拠出金	1,219,590 円
④規程に基づく定年退職手当	2,791,276 円
⑤退職給付費用	7,545,090 円

# 附 属 明 細 書

## 1. 特定資産の明細

特定資産の明細は、財務諸表に対する注記に記載してあるとおりである。

## 2. 引当金の明細

(単位：円)

科 目	期首残高	当期増加額	当期減少額		期末残高
			目的使用	その他	
退職給付引当金	9,600,551	1,014,224	5,102,690	0	5,512,085
貸倒引当金	351,322	270,630	0	351,322	270,630

※貸倒引当金の当期減少額（その他）は、一般債権の引当金計上基準による金額の洗い替えによる取崩し額である。

# 財 産 目 録

令和 5 年 3 月 31 日現在

(単位：円)

貸借対照表科目	場所・物量等	使用目的等	金 額	
(流動資産)				
現金預金	手元保管現金	運転資金として	395,480	
	普通預金			
	三井住友銀行幡ヶ谷支店	同上	14,002,691	
	みずほ銀行渋谷支店	同上	13,894,833	
	三菱 UFJ 銀行笹塚支店	同上	881,155	
	振替口座			
	ゆうちょ銀行代々木支店	同上	506,799	
未収金		受取配分金の未収額	44,220,604	
貸倒引当金		期末未収金に対する引当金	△ 270,630	
立替金		ブロック共同事業分担金立替金	4,500	
前払金		令和 5 年度定時総会会場施設 利用料等 3 件	276,000	
流動資産合計			73,911,432	
(固定資産)				
特定資産				
退職給付引当資産	普通預金	退職金の支払に備えて積立て ている資産である	5,512,085	
	三井住友銀行幡ヶ谷支店			
財政運営積立資産	定期預金	全額が管理業務用財産であり、 財政運営の健全性を維持する ために保有する資産である	10,325,000	
	三菱 UFJ 銀行笹塚支店			
	定期預金	同上	10,000,000	
	三井住友銀行幡ヶ谷支店			
	普通預金	同上	31,378,000	
	みずほ銀行渋谷支店			
	普通預金	同上	3,000,000	
	三菱 UFJ 銀行笹塚支店			
	普通預金	同上	3,000,000	
	三井住友銀行幡ヶ谷支店			
その他 固定資産	電話加入権	N T T	法人運営事業の用に使用して いる財産である	225,900
	リース資産	リコーリース(株)	公益目的事業、法人運営事業 のために使用するパソコン 12 台・プリンター 2 台 公益目的保有財産であり、公 益 (80%)、法人 (20%) に 使用している	395,903
固定資産合計			63,836,888	
資産合計			137,748,320	

(単位：円)

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金額
(流動負債)	未払金		支払配分金の未払額	28,776,426
			区補助金返還金	646,508
			業者等支払 24 件	1,741,941
			人件費未払額	9,073,249
			未払消費税	1,002,300
	前受金		受取配分金等の前受金	193,082
	預り金		源泉所得税の預り金	358,081
社会保険料等の預り金			197,717	
住民税の預り金			167,900	
令和 5 年度入会予定者会費預り金			52,000	
1 年以内返済 予定リース債務			公益目的事業、法人運営事業 のために使用するパソコン等 のリース資産に対する負債 令和 5 年度分：公益 (80%)、 法人 (20%)	404,522
流動負債合計				42,613,726
(固定負債)	退職給付引当金		職員への退職金の支払いに備えて計上している引当金である	5,512,085
固定負債合計				5,512,085
負債合計				48,125,811
正味財産				89,622,509

# 公益社団法人渋谷区シルバー人材センター 令和4年度 事業報告の件

このことについて、公益社団法人渋谷区シルバー人材センター定款第40条第1項の規定により、報告する。

令和5年6月15日

公益社団法人 渋谷区シルバー人材センター  
会 長 新 倉 要

# 公益社団法人渋谷区シルバー人材センター

## 令和4年度 事業報告

### あらまし

令和4年度は、新型コロナウイルスの感染拡大が一旦収まりかけ、日常が戻るかのような状況でスタートしました。しかし、再び感染が拡大し、7月に入り第7波に見舞われたことで、会員本人のみならず家族間感染も増え、就業に大きな影響を及ぼすとともに、会議の中止や延期を余儀なくされました。

下半期は、感染者数も徐々に減少し、行動制限のない社会経済活動に戻るかと思われましたが、第8波の到来にインフルエンザの流行も加わったことで、高齢者には厳しい状況が続きました。

契約に目を向けますと、社会経済情勢の回復機運をうけ、公共事業はコロナ前の実績に回復してきましたが、民間事業は受注の回復がなかなか進まず、増加は小幅となりました。

以下、令和4年度の主な事業の実施状況等について報告いたします。

### 1 令和4年度の目標値と実績

	令和4年度			令和3年度	前年度との比較
	目標値	実績	目標値との比較	実績	
会員数	1,250人	1,181人	△69人	1,173人	8人
契約金額	4億2,500万円	4億3,733万円	1,233万円	3億9,940万円	3,793万円
年間就業率	75%	65.5%	△9.5%	64.6%	0.9%

\*契約金額は、千円以下は四捨五入しています。

\*年間就業率には、派遣分は含まれていません。

派遣のみの就業者は34人で、実質の就業率は68.3%となっています。

## (1) 会員の状況

令和4年度					令和3年度		
	実績	入会	退会	入退会 増減	実績	入会	退会
男性	594人	68人	83人	△15人	609人	43人	85人
女性	587人	84人	61人	23人	564人	58人	90人
合計	1,181人	152人	144人	8人	1,173人	101人	175人

参加人数を増やすため、入会説明会は、時間指定により密にならないように工夫するなど、感染対策を講じたうえで実施しました。また、希望職種などをよく聞き取り、より丁寧に説明したことで、入会者の増加につながったと考えています。

特に、女性会員においては入会者が多く、退会者も少なかったことから、男女会員の比率は、ほぼ同数となりました。

令和5年度もマッチングが円滑にいくよう、引き続き入会説明会の充実に努め、会員の増加に取り組んでいきます。

## (2) 事業実績

令和4年度			令和3年度		増減	
	契約金額	受託 件数	契約金額	受託 件数	契約金額	受託 件数
請負 公共	240,964,630 円	1,336 件	213,070,732 円	1,299 件	27,893,898 円	37 件
請負 民間	169,572,812 円	4,769 件	165,252,659 円	4,871 件	4,320,153 円	△102 件
派遣	26,788,255 円	7 件	21,073,666 円	7 件	5,714,589 円	0 件
合計	437,325,697 円	6,112 件	399,397,057 円	6,177 件	37,928,640 円	△65 件

公共事業は、社会経済情勢が規制緩和にシフトしたことや、公共施設の稼働が従前のおりとなったため、コロナ前の実績に回復しました。

一方、民間事業については、新規受注はあったものの、年間契約の実績の回復幅が小さく、公共事業並みの回復まではいきませんでした。

なお、「公共事業」と「民間事業」との比率は、今期は58：42で、公共事業が従前の実績に戻ったため、前年度比では、公共の割合が2ポイント増加になりました。



### (3) 会員の就業状況

	男性		女性		合計	
	人数	就業率	人数	就業率	人数	就業率
請負就業率	411人	69.2%	362人	61.7%	773人	65.5%
派遣加算就業率	11人	100%	23人	100%	34人	100%
合計	422人	71.0%	385人	65.6%	807人	68.3%

\*就業率：令和4年度に一度でも就業したことがある会員数／会員数

\*派遣加算就業率：派遣で就業している会員の中で派遣のみの就業人数を加算したものの

## 2 事業実施計画の実施状況

### (1) 就業機会の確保・拡大

#### ① 区の施策との連携・協力

##### ア 公共事業の充実

総合ケアコミュニティ・せせらぎ、はつらつセンター等の受付業務、リサイクルセンター等の施設管理業務、公園等の清掃業務、児童安全管理業務などに加えて、白根郷土博物館・文学館受付業務を新規受注するなど、渋谷区等の発注先と緊密に連絡調整を行い、利用者が快適に利用できるよう質の高い就業に努めてきました。

令和5年度も、信頼関係を保ち、受注の維持と量的な拡大を目指します。

##### イ 軽作業代行サービス業務

渋谷区からの委託事業である「軽作業代行サービス業務」は、対象となる区民に丁寧な説明をし、地域の方々の間にしっかりと定着し実績を重ねてきました。

これからも、就業会員と連携し、より親切で丁寧な対応に心掛け、利用しやすいサービスとして地域の期待に応えていきます。

サービスの内容	令和4年度	令和3年度
電球などの交換	17件	21件
ベランダや窓の清掃	43件	44件
病院への付き添い	12件	4件
散歩や外出などの付き添い	—	1件
庭木の水遣り	18件	15件

植木の剪定	304 件	344 件
除草	287 件	337 件
合 計	681 件	766 件

## ② 民間事業の受注

建物管理、ビル清掃の新規受注のほか、単発軽作業の受注などがあり、契約金額は前年度より増額しました。しかし、新型コロナウイルス感染症拡大前の実績までには、回復しませんでした。

受注中の契約については、事業所を訪問するなど連携強化を随時行い、契約維持に努めてきましたが、過去に契約実績があった事業所への訪問は、新型コロナウイルス感染症の影響により、訪問を控えることとなりました。

令和4年度は、就業拡大への取り組みとして、新規受注を目指し、就業率が少ない笹塚、幡ヶ谷、本町地区を中心に区内の軽度な作業が見込まれる業種の企業約1,000社にダイレクトメールを作成し、PRと就業依頼書を兼ねたチラシを発送しました。また、令和元年度以降入会の未就業会員の希望動向アンケートを行いました。

令和5年度は、実績があった事業所への訪問等を行い受注の拡大に取り組みます。また、アンケートの集計、分析結果を踏まえ、民間事業の受注に重点を置き、地域、職種を絞った効率的なPRを行い、ダイレクトメールの成果も合わせ、受注の増加に取り組みます。

## ③ シルバー派遣の推進

発注先と緊密に連絡調整を行い、就業会員と連携し、社会教育館等の公共施設での質の高い就労の提供に取り組み、区民サービスの一翼を担ってきました。

今後は、公共施設に加え、民間企業や店舗等での保育補助、調理補助、また、経理事務等派遣に相応しい派遣事業の新規受注に取り組みます。

## ④ 独自事業の推進

### ア 粗大ごみ運び出し業務

独自事業として、平成21年度にスタートしました。

重量が25kgを超えるものや大型家具など、対応できないケースもありますが、事業として定着しています。

実 績	令和4年度	令和3年度
	13件	20件

## イ 誰でも文章教室

参加人数	令和4年度	令和3年度
	3講座各5人	2講座各4人

## ⑤ 福祉・生活支援事業の推進及び地域連携公開講座の実施

「福祉・生活支援コーディネーター」を引き続き配置して、初めて就業する会員が安心して始められるよう、初回就業時に同行するなど、きめ細かなフォロー体制を継続しました。

また、新規家事援助サービス就業会員を増やし、就業会員の交流を促進させるため、企画事業を実施しました。実施に当たっては、会員のみならず、広く区民にも参加を呼びかけ、区民参加型の地域連携公開講座も実施し、併せて入会勧誘等の普及啓発活動を行いました。

講座名	実施日・実施場所	参加人数
【ものづくり講座】 苔玉づくり	令和4年5月18日 総合ケアコミュニティ・せせらぎ	16人
【家事力アップ講座】 男の掃除術	令和4年6月24日 リフレッシュ氷川	11人
【生きる力づくり講座】 身体づくり	令和4年7月8日 YCC代々木八幡コミュニティセンター	15人
【身体づくり講座】 薬と食べ合わせ	令和4年12月8日 リフレッシュ氷川	12人

## ⑥ 適正就業への取組み

### ア 就業交代とワークシェアリング

公共就業のうち、指定職種の5年ルール適用を基本にワークシェアリングに取り組みました。そして、令和5年度に該当する就業場所を「センターだより」で会員に周知し、応募者に面談等を実施して、適材適所からなる就業交代を行いました。

令和5年度は、全体として従前から応募者が少ないことや就業希望者が多い職場、少ない職場が極端になっている点等を分析します。

そのうえで、就業希望が少ない職場の応募者を増やす取り組みを行う等、ワークシェアリングの推進に努めます。

## (2) 普及啓発事業の推進

### ① 会員入会、活動のPR

渋谷区の協力のもとで図書館やスポーツ施設等の渋谷区施設で会員募集のチラシを配置したほか、路線バス車内でのアナウンス案内等を行いました。

また、3年ぶりに会場方式で開催された「くみんの広場」に参加し、会員募集や活動のPRを行いました。

さらに、渋谷区役所出張所内に設置している案内モニターに、インフォメーション画像を掲出するほか、令和4年度より、新たに幡ヶ谷駅構内に広告パネルを掲出するなど、PRの拡大に取り組みました。

### ② 区ニュースによる周知活動

入会説明会、入会相談会の開催に合わせて渋谷区ニュースに掲載し、効果的に周知を行いました。

令和5年度も開催に合わせ、掲載します。

### ③ 入会説明会の充実

地域班の協力のもと、毎月、総合ケアコミュニティ・せせらぎやシブカツにて、入会説明会を開催しました。コロナ対策として、人数制限や時間指定により、密を避けながら、入会希望者へ丁寧な説明を行いました。

令和5年度も引き続き入会の促進に取り組みます。

### ④ オリエンテーション等の充実

新入会員及び未就業会員を対象にオリエンテーションを実施しました。

当初の予定が、コロナの第7波・第8波で延期等の影響を受けましたが、規模を縮小したうえで実施しました。

実施日	実施場所	参加人数
令和5年1月25日	総合ケアコミュニティ・せせらぎ	23人

令和5年度は、対象者、回数ともに増やし、充実したオリエンテーションを実施します。

また、職群ごとの情報交換会は、新型コロナウイルス感染症の影響により、実施できませんでしたが、令和5年度は実施に向けて取り組みます。

### ⑤ センターだより等の発行

内容の充実に努め、会員向けにタイムリーな情報提供を行いました。

令和5年度は、さらに読みやすく、会員に必要な情報を提供していきます。

発行回数	発行時期	発行部数
年4回	令和4年4月、7月、10月 令和5年1月	各1,300部

### ⑥ ホームページの活用

入会説明会、入会相談会のお知らせのほか、会員に向け、新型コロナウイルス感染症の注意喚起、就業情報、イベントの開催等をお知らせしてきました。

令和5年度も定期更新、随時更新により情報量拡充や最新情報の掲載に努め、会員、区民等の発注者に対し必要な情報を提供できるよう努めます。

## (3) 相談事業の充実

### ① 区施設での入会相談会を実施

毎月、土曜日、日曜日を中心に地域交流センター等の渋谷区施設で入会相談会を実施しました。

身近な場所で開催することで、気軽に参加できるようにし、入会を検討している区民を対象に会員の就業体験談等をお話ししながら相談を受け入会促進に努めました。

令和5年度も継続する予定です。

## (4) 研修・講習会事業の充実

### ① 各種講習会等の開催

事業理念等について、会員の理解を深めるとともに、業務のスキルアップ等を目的に、職群にとらわれず、新規就業会員向けに接遇研修を実施しました。

また、掃除、料理等の家事援助サービスの充実や就業会員のフォローアップとして、ブラッシュアップ講座を実施しました。

講座名	実施日・実施場所	参加人数
【接遇研修】	令和5年3月15日、16日 総合ケアコミュニティ・せせらぎ	18人
【ブラッシュアップ講座】 清掃	令和5年3月29日 総合ケアコミュニティ・せせらぎ	17人

## ② 東京しごと財団の就業支援講習会

講座名	実施日（各1人参加）	実施場所
生活支援サービス研修（調理）	令和4年12月8日	立川市女性センター
パソコンインストラクター養成	令和4年7月12日～15日	ニチレイ水道橋ビル
包丁研ぎ（第1回）	令和4年7月27日	
ハウスクリーニング1	令和4年9月2日	
ハウスクリーニング2	令和4年10月18日・19日	
包丁研ぎ（第2回）	令和4年12月8日	
スマホ教室立上げ	令和4年12月22日	
パソコンインストラクター養成	令和5年1月24日～26日	
ハウスクリーニング3	令和5年2月9日、10日	
襖の張替え	令和5年3月7～9日	

\*安全就業推進関係の講習会は（6）⑥参照

## (5) 社会参加支援事業の推進

### ① 会員によるボランティアの実施

地域班による地域での清掃活動を行いました。

地域班名	実施月	参加人数
本町東	令和4年5月、6月、10月 及び令和5年1月	延29人
幡ヶ谷	令和4年4月、5月、6月、9月、10月 及び令和5年1月	延37人
笹塚	令和4年4月、5月、6月、10月、11月 及び令和5年3月	延76人

### ② 傾聴講座の実施による地域支援サークルの立上げ

例年、地域連携公開講座を開催している中で、公益法人として、より積極的に地域還元の役割を果たすため、新たにボランティア活動を視野に入れた地域支援サークルの立ち上げを検討しました。

まずは、傾聴ボランティア育成のため、専門の講師による「傾聴入門講座」を開催し、13人が受講修了しました。

今後は、地域包括支援センターやしぶやボランティアセンターと連携を取りながら、受講修了者のスキルアップに努め、渋谷区内高齢者施設等でのボランティア活動に取り組みます。

講座名	実施日	開催場所	参加人数
はじめての傾聴入門 (3日間 全6回)	令和5年 1月11日、18日、26日	美竹の丘・しぶや	13人

## (6) 安全就業の推進

安全就業を推進するため、安全管理委員会を中心に、会員の健康と安全に関する事項について「令和4年度安全対策実施計画」を定め、以下の取組みを実施しました。予定していた活動は、ほぼ実施することができました。

### ① 事故検証と事故防止情報の共有

安全管理委員会では、事故報告を受けた後、速やかに事故検証を行うとともに、情報共有化を図りました。そして、会員向け情報紙「ご安全に」により、事故情報の周知、事故未然防止の取組みを行いました。

令和4年度の傷害事故は、前年度と同件数でした。一方、賠償事故は、前年度0件でしたが2件発生しました。

#### 《傷害事故発生状況》8件【参考】令和3年度8件、令和2年度8件

No.	性別	年齢	就業の内容	事故発生状況	障害の程度
1	男性	79	駐輪場管理	自転車走行中、停車している自動車の右側を通過した際に突然ドアが開き接触した。	左手甲打撲
2	女性	91	就業途上(復路)	駅構内の改札前付近で足がもつれて転倒した。	右肩脱臼骨折
3	男性	75	配布	専用スタンドに収納中、誤ってスタンドに右手親指をぶつけた。	右拇指末節骨骨折、右手血腫
4	男性	84	委員会活動経路途中(往路)	後方から自転車に衝突され、路上に横転した。	左内果擦過傷、左殿部打撲傷
5	男性	89	就業途上(復路)	自転車走行中、前方の歩行者をよけた際、バランスを崩し横転した。	右脇腹骨折

6	男性	76	公園清掃	清掃中、樹木の根に躓きかけ、踏ん張った際、負荷がかかった。	左足小指骨折
7	男性	67	就業途上 (往路)	自転車走行中、前方からの自転車をよけた際、横転した。	肋骨骨折
8	女性	69	就業途上 (往路)	歩行中、道路上で転倒した。	顎・肋骨・左膝打撲

《賠償事故発生状況》 2件【参考】令和3年度0件、令和2年度2件

No.	性別	年齢	就業の内容	事故発生状況
1	女性	75	家事援助	室内清掃中、掃除機が床に落下し破損した。
2	女性	74	家事援助	トイレ清掃中、自動開閉便座を一部破損した。

② 「ご安全に」の発行

年4回3か月毎に、安全就業に関する情報紙「ご安全に」を全会員に配布し、安全就業に対する注意喚起と意識啓発を行いました。

③ 安全就業巡回指導の実施

11月に安全就業巡回を9か所において実施して、就業場所の安全を確保し、事故防止に努めました。

《安全就業巡回指導実施状況》

No.	就業分野	巡回指導現場	巡回指導日
1	屋内清掃	笹塚高架下施設	令和4年11月14日
2	公園清掃	笹塚東公園	令和4年11月14日
3	建物一部管理	幡ヶ谷原町住宅	令和4年11月16日
4	屋内清掃	幡ヶ谷二丁目住宅	令和4年11月16日
5	屋外清掃	チェリーコート笹塚	令和4年11月21日
6	屋外清掃	カーサF&S	令和4年11月21日
7	駐輪場管理	あおい通り自転車駐輪場	令和4年11月28日
8	学校管理	中幡小学校	令和4年11月28日
9	児童安全管理	臨川小学校	令和4年11月29日



## 《東京しごと財団安全就業パトロール指導員による安全就業指導》

実施日	令和4年10月31日
指導員	東京しごと財団 安全就業パトロール指導員 永谷 秀司 氏
実施内容	巡回指導（①公園清掃、②日常清掃） 安全就業に関する調査・相談

### ④ 熱中症予防啓発グッズ・インフルエンザ予防啓発グッズの配布

会員に、6月に熱中症予防啓発グッズ（塩飴）、11月にインフルエンザ予防啓発グッズ（うがい薬）を配布して、熱中症及びインフルエンザ予防の啓発活動を行いました。

### ⑤ 安全標語の募集

東京しごと財団が主催して実施される安全就業標語募集については、全会員に周知し、次の応募があった中から、安全管理委員会による選考を行い、各3点の作品に応募しました。

テーマ1 「健康管理」	応募作品数 19点
テーマ2 「転倒事故防止」	応募作品数 18点

### ⑥ 東京しごと財団主催講座等への参加

講座名	開催日	開催場所	出席者
シルバー人材センター 安全リーダー研修	令和4年7月6日	東京しごと センター	安全管理委員1人
新任安全管理委員勉強会	令和4年7月8日	東京しごと センター	安全管理委員1人
自転車安全利用講習会	令和4年11月7日	東京しごと センター	安全管理委員1人

### ⑦ 第4ブロック共同事業への参加

講座名	開催日	開催場所	出席者
「事故未然防止 講習会」	令和4年8月12日	港区シルバー 人材センター	新型コロナウイルスの 影響により中止
「普通救命救急 講習会」	令和5年2月22日	渋谷区シルバー 人材センター	安全管理委員2人

## ⑧ 安全就業講習会の開催

講座名	開催日	開催場所	出席者
「転倒予防・危険予知訓練等」	令和4年10月14日	総合ケアコミュニティ・せせらぎ	20人
「転倒予防・危険予知訓練等」	令和5年2月27日	リフレッシュ氷川	13人

## (7) 事業運営の安定化と効率化の推進

### ① 地域班活動の充実

地域班の班長との会合を年6回開催し、各地域班の実情について、共有を進めました。事務局からの事務連絡のほか、コロナ禍での地域班の会合の開催状況、新入会員、未就業会員との接触が難しい点など、各地域班の現状や課題を把握することができました。

令和5年度も引き続き、各地域班の活動を支援していきます。

具体的には、地域班の会合等の活用による会員相互の交流の後押しや例えば、ボランティア活動の推進等、新しい活動スタイルの会合の開催も積極的に支援していきます。

### ② IT化の推進

スマホ相談会を4月から12月において、全6回開催しました。

開催に当たっては、SMSや「センターだより」を活用し、周知を図りました。

一方で、渋谷区が開催している「なんでもスマホ相談会」や「スマホサロン」が浸透してきていることも合わせ、一定の成果を挙げたと判断しています。

令和5年度も、ペーパーレス化やデジタル化への不安を解消するための講座の企画等、きめ細かくフォローしていく予定です。

### ③ 令和5年10月消費税におけるインボイス制度導入への対策

インボイス制度については、「センターだより」で周知をしてきましたが、令和5年度も引き続き適宜周知に努めていきます。

### 3 諸会議の開催状況

会議の名称	開催回数	会議の概要
定時総会	1回	令和4年6月16日 渋谷区文化総合センター大和田 さくらホール 会員総数 1,179人 出席 35人 委任状提出者 813人 合計 848人
理事会	14回 <small>決議の省略を含む。</small>	構成員 理事 12人、監事 2人
三役委員長会	12回	理事会開催の事前打ち合わせ等を行う。 構成員 会長、副会長、常務理事、企画総務委員長、 事業開拓委員長
企画総務委員会	11回	構成員 理事 4人、会員 3人
事業開拓委員会	11回	構成員 理事 4人、会員 4人
安全管理委員会	11回	構成員 理事 4人、監事 1人、会員 4人、事務局長
就業基準委員会	5回	構成員 会長、副会長、常務理事、理事 2人、会員 2人
表彰委員会	1回	構成員 副会長、常務理事、企画総務委員会及び事業開拓委員 会の委員長及び副委員長
地域班長会	6回	構成員 各地域班の地域班長 12人、会長、副会長、 事務局長

### 4 附属明細書

令和4年度事業報告に、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則第34条第3項に規定する「事業報告の内容を補足する重要な事項」はありませんでした。